



キッチンからリビング・ダイニングを見る。
プライバシーの確保された開放的な空間。

交わる居所

■ 設計コンセプト

本計画は、静岡県浜松市郊外に新築した夫婦の住まいである。計画地は、浜松中心部から線路沿いに北上した場所に位置し、駅や区役所など地方の都市機能がまとめられた場所からほど近い住宅地となっていた。敷地は、約11m×21mの東西に長い長方形で、南西側が道路に接道し他三方が隣家に囲まれた密集したものであった。建築主の要望は、プライバシーに配慮しつつ家内でも自然が感じられる開放的な空間やルームウェアでも外に出られる落ち着いた空間であり「開放的で自然に囲まれた暮らし」という強いイメージが提示された。敷地の状況と建築主の要望を踏まえ敷地に対するボリュームの検討を行ったところ敷地の約半分を庭にできることが分かった。その庭と住戸の関係をどのように計画するかが課題となった。まず、北側に東西に長い住戸のボリューム、南側に庭を配置した場合、住戸と庭は一對一の単調な関係になってしまう。そのため、住戸と庭がより密接な関わりを持つ混ざりあいの関係性ができないかと思案した。検討していく中で、機能のボリュームに合わせ長方形のボリュームを4分節し南北にずらした市松模様のような配置計画とすることが良いと考えた。その4分節は接道している公的な場所から私的な場所となるように計画を行った。そして、それぞれの分節に対応して「前庭」・「坪庭」・「中庭」・「小庭、裏庭」の5つの庭を計画した。この庭が各ボリュームに接し豊かな住環境を計画するために、開口部の取り方や素材の選定などを行った。本建築は、内部と外部により密接な関係を生むため、市松模様の配置計画とした。そして、異なる空間性を持つ外部空間と連続する内部空間により、これから先も開放的な生活を許容し変化する外部環境とともに年月を重ねながら豊かな暮らしとなることを望む。

■ ダイアグラム



■ 建築概要

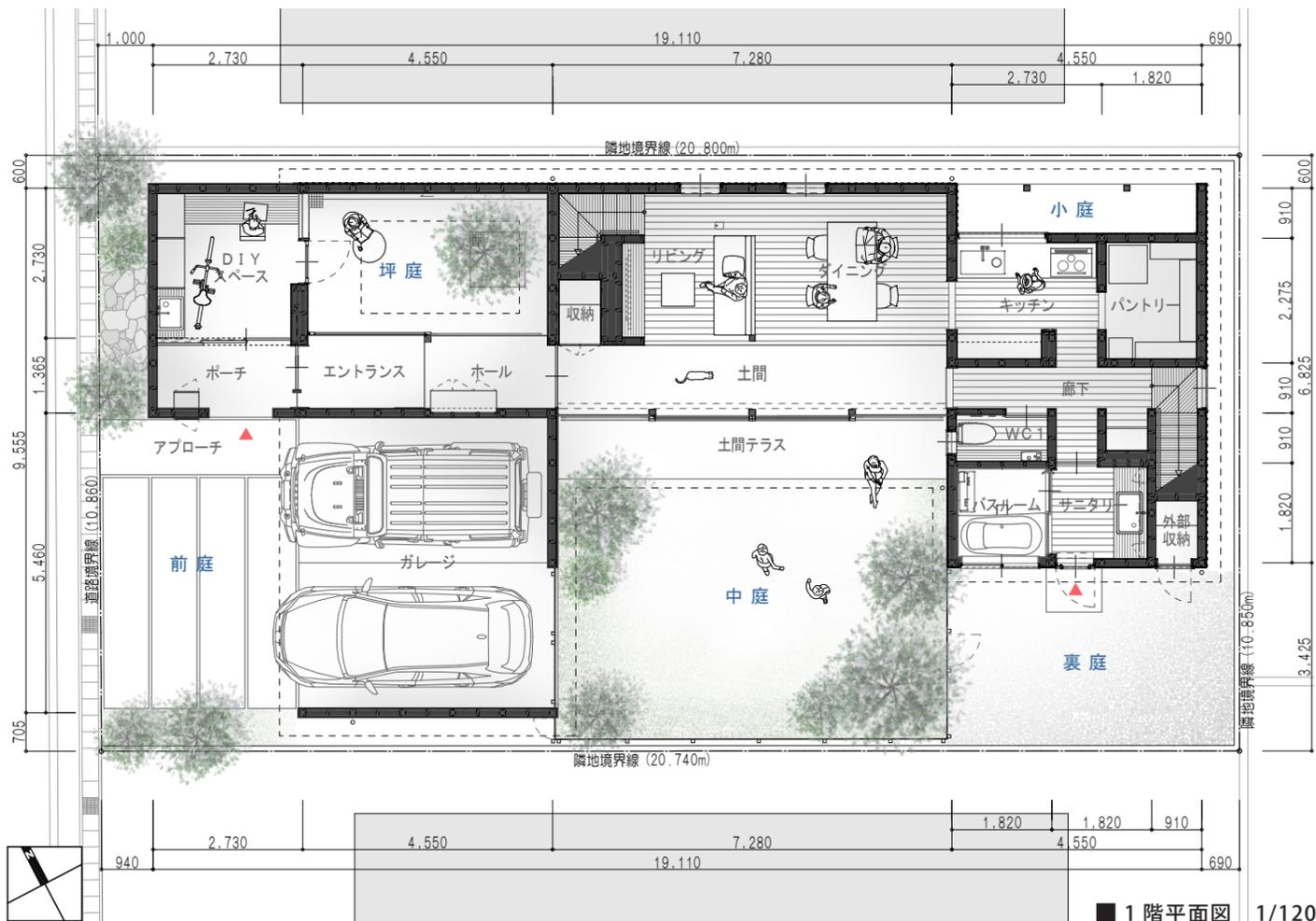
所在地 : 静岡県浜松市浜北区
 計画区域 : 都市計画区域
 用途地域 : 第一種低層住居専用地域
 主要用途 : 一戸建て住宅
 構造 : 木造在来軸組工法
 階数 : 地上2階
 最高高さ : 6.83 m
 敷地面積 : 225.45 m²
 建築面積 : 112.70 m²
 延床面積 : 138.59 m²
 建蔽率 : 49.99 %
 容積率 : 61.48 %

■ 主な外部仕上げ

屋根 : 厚0.4 ニスカラー艶消し GL 鋼板 縦平葺き
 外壁 : 厚0.4 ニスカラー艶消し GL 鋼板 スパンドレル張り
 厚14 サイディング張り 有機質砂壁吹付仕上
 [坪庭]
 床 : 厚30 モルタル金ゴテ 防塵塗装
 壁 : 厚14 サイディング 有機質砂壁コテ仕上

■ 主な内部仕上げ

[リビング・ダイニング]
 床 : 厚12 天然木複合フローリング
 壁 : 厚12 スギ板張り 自然着色塗装
 天井 : ビニルクロス貼り

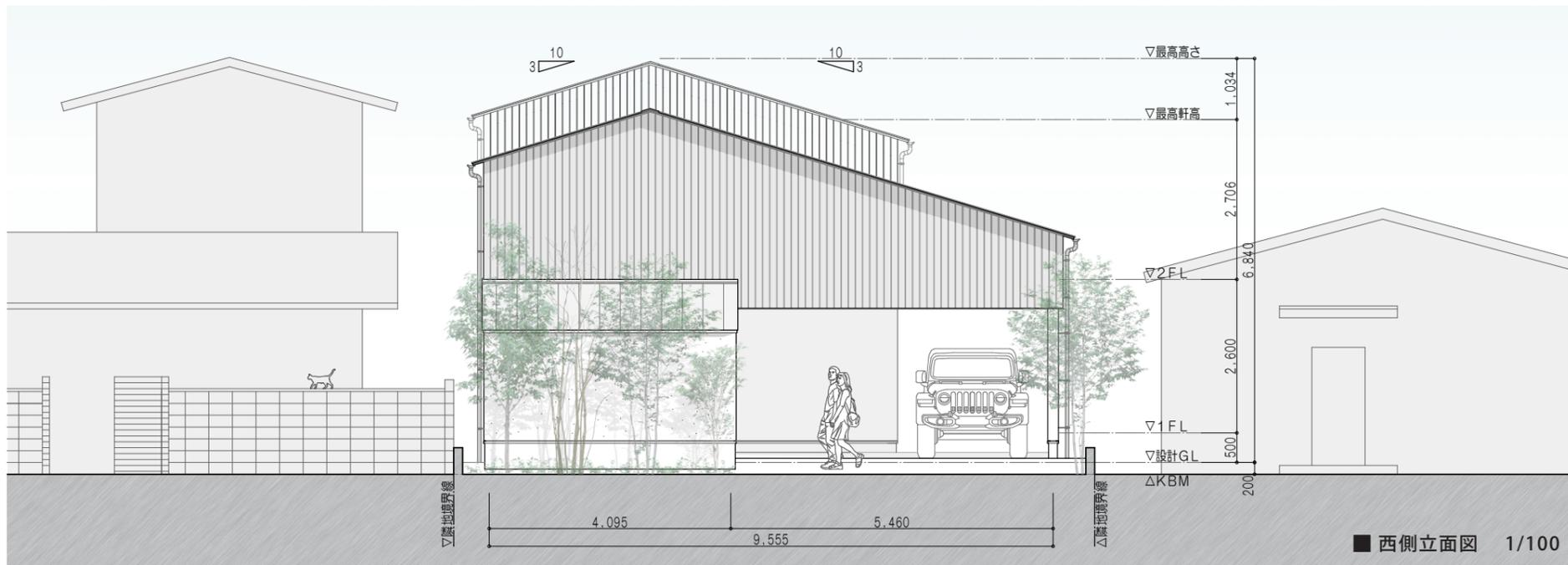




中庭から見る南側外観。
木製フェンスの奥には裏庭がある。



土間テラス



西側外観